

産業都市・歴史と文化の街・福山が、国際都市になろうとしています。東京オリンピック・パラリンピックのメキシコ選手団事前合宿地となっている福山です。選手団への市民こそってのおもてなしが望まれています。

メキシコの公用語は、スペイン語です。昨年度の老大大前期全員教養講座の際、講師をお願いした枝廣福山市長は、老大大生に対して、スペイン語の勉強を呼びかけられました。

市長から直接、依頼を受けた老大大生の学習意欲は、満々。定員40名に受講希望者は91名。厳正な抽選選考を経ての本日の受講生40名です。

他方、講師の選考は難航しました。福山にスペイン語を指導できる先生は限られていて、やっと前田道子先生にご無理をお願いして、開講の運びとなりました。

この講座は、「ボランティア」・「ばらづくり」の短期講座と同じく、受講料無料です。タダには裏があります。受講終了後には、メキシコ選手団の通訳をお願いすることになると思います。

通訳ボランティア・ガイドボランティアとして、ご活躍いただきますことを期待して、開講にあたっての挨拶といたします。